

企業名： 中部電力

レポート名： 中部電力グループレポート 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

中部電力（以下当社表記する）の目指す姿はくらしに欠かせない電力の安定供給を行い、持続可能で安心安全な社会の実現に貢献することであると読み取れた。当社は2050年の社会は脱炭素化されたものになると想定している。その社会の実現のために2050年までに事業全体の温室効果ガスの排出量ネット・ゼロに挑戦する「ゼロエミチャレンジ2050」や、「JERA環境コミット」を掲げている。また、地域の人を対象に脱炭素化コンサルティングなどを行っており、地域の人との連携を大切にしながら脱炭素化社会の実現に向かっている。そして、持続可能で安定した電力の供給のためには原子力発電が不可欠であるとしていること、再生可能エネルギー拡大に取り組んでいることも読み取れた。「地域インフラ事業」を展開していくことで、社会・地域を支える企業として持続可能な社会の実現に貢献していくことも述べられている。そして、先行市場である国内でえられた知見をアジアにも共有・活用するなど、脱炭素化につながるグローバル事業への投資を拡大していることから、当社が目指す「持続可能で安心安全な社会」の“社会”は日本に限らず、世界を対象としていることも分かった。一つ一つの事業ごとに当社が目指す姿などが丁寧に書かれており、非常に理解しやすかった。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

理解はできるが、わかりづらかった。書かれている事業は計画されている未来のものが全体的に多く、これから先の利益の伸びや当社の成長についてはわかりやすかったが、現在の当社の強みについて書かれている箇所が少なくわかりづらかった。昔からの地域とのつながりによる送配電網、顧客基盤、信頼、そして技術力などが強みであると一応書かれてはいるが、図のなかに小さく書かれていて気付きづらい。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

理解できる。取締役会議長・社外取締役の対談で述べられている通り、将来的に電気を使わなくても済むような生活ができるようにはおそらならない。そのため中部電力グループが電気を作り、送って、使ってもらおうという仕組みは今後何があっても切り離せないものである。電力の安全・安定的な供給のための設備投資は継続して行われるためこれからも安定した供給できるだろう。そして国内の需要にはすでに限界があり、売り上げ増は期待できないため、今まで培ってきた経験や知識を生かしたグローバル市場への進出も計画されており、技術力の強みは海外でも優位性を保てるかと予想できる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

達成できると思う。当社は経営ビジョン 2.0 において、「人材一人一人の成長・活躍が企業価値そのもの」との考えのもとで、人財戦略を推進するために人財戦略室を新設している。当社はグループの従業員が目指す姿として、「エネルギーのお届け」の進化を追求できる人、チャレンジできるマインド・能力を備えた人材、イノベーションを社会実装できる 3 つ人財像を設定し、その育成のために「働きやすさ」の充実に加え、「働きがい」や「成長・学び」への機会という切り口で人財投資を進めている。具体的には全従業員を対象にした人間ドッグの無償化がある。これは従業員が健康を維持し、効率的に成長できる手助けになっている。多様な人財が採用されており、様々な意見や考え方に触れ、物事の見方が広がると考えられる。また、従業員一人一人の能力や会社への貢献度をきめ細かく分析し、その評価を上司から部下にフィードバックするとともにさらなる成長に向けコミュニケーションを行う機会も設けられている。そして次世代リーダー育成の研修やファイナンスデータ分析の研修など、従業員の学ぶ姿勢を支援する制度が整備されている。発電所の保守・工事を担当する事務所では自分たちで見つけた変電設備の機能低下や故障に対し、自由に分解点検し、取り替えてもいいと許可を出している。こうすることで社員は自分たちで機能回復をさせ、自己実現をし、スキルを身に着けることができると述べられている。このような例から社員は自身の人的資本を向上できると考えられる。人財評価に関する外部評価も数多く記載されていたため、説得力があった。

4. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

良かった点としては図が多くわかりやすかった点である。統合報告書のページ数は 100 ページを超える、比較的量の多いものであったが、文字ばかりでなく図が多く用いられていたために非常にわかりやすく、飽きずに最後まで読むことができた。また、当社が行っている、または計画している事業一つ一つが丁寧に説明されており、当社がどんな企業でどのようなことを行っているのか素人でも簡単にわかるわかりやすいものであった。人財戦略についても、取り組みが具体的にかかれていたため入社した後の成長や自己実現を想像できた。目標とその達成方法などの将来に関する説明が多かったため、当社がこの先どうなっていくのかを理解することができた点も評価できる。一方、現在の当社の強みに関する説明が少なかった点が気になった。将来のことに関する説明も大切であるが、現状を丁寧に説明すべきである。国内のほかの電力会社との比較をするなどすれば、わかりやすく当社の強みを伝えることができると考える。また、人材戦略の部分に、それを考案、実施している上層部の意見だけでなく、実際に研修に参加した社員の感想や意見などを掲載すればより説得力が出ると感じた。